

令和2年度青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金（新規）申請事業 プレゼンテーション実施概要

【日 時】 令和2年5月25日（月）午前10時00分～

【場 所】 浪岡庁舎2階 大会議室

1 開催目的

- ・浪岡自治区地域協議会委員（以下「委員」という。）の評価、及びその評価結果を参考としながら市が審査を行うにあたり、申請者から事業内容について直に聴取できるため、その目的・内容・熱意等を深く理解し、より適切に評価及び審査することが可能となります。
- ・申請者は、書類の提出だけでなく、その内容を発表することにより、事業が採択された場合、補助事業に対する意識の高揚が図られます。

2 プレゼンテーションの実施

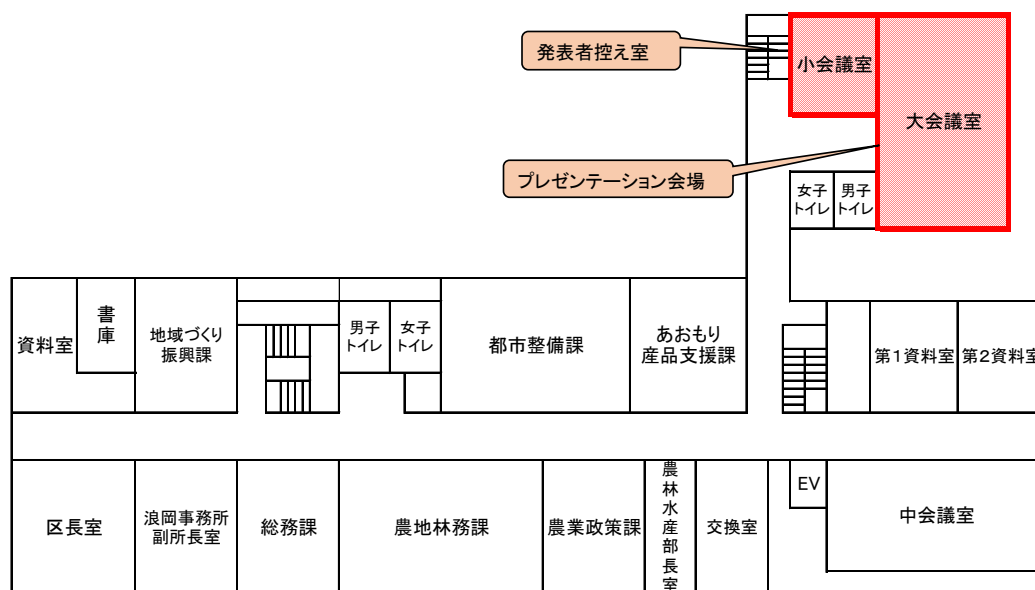
1) 概要

- ①プレゼンテーションの内容は、団体の紹介及び申請事業の内容のみとします。
- ②プレゼンテーションに使用する資料は、申請書類一式（事業計画書、収支予算書、団体概要書）とします。
※ 発表資料は、事前に委員へ配付します。
- ③公平性を保つため、発表者控え室としてプレゼンテーション会場と別に浪岡庁舎2階小会議室に設け、事前に他団体が行ったプレゼンテーションを参考にできないようにします。
- ④発表者の人数は問いません。
- ⑤発表時間は1事業あたり15分（説明：5分、質疑応答：10分）とし、プレゼンテーション途中であっても持ち時間が経過した時点で終了します。
- ⑥時間の経過は、以下の合図でお知らせします。
 - ・1 鈴：説明終了1分前（4分）
 - ・2 鈴：説明終了時（5分）
 - ・3 鈴：質疑応答終了時（15分）
- ⑦プレゼンテーションの開催は原則1回とし、これに欠席した場合、委員の評価及びその評価結果を参考としながら市が行う審査は、申請書類の内容のみで行います。

2) プレゼンテーション（発表）の進行

- ①発表者控え室より入場 → ②プレゼンテーション開始 → ③説明（5分） →
- ④質疑応答（10分） → ⑤発表者退場 → ⑥次の発表者入場

3) プレゼンテーション会場・発表者控え室の配置図（浪岡庁舎2階）



3 浪岡自治区地域協議会委員の評価

1) 評価基準

申請者からのプレゼンテーションを経て、委員は次の評価基準に基づき評価を行います。

《評価基準》

【公共プログラム】

項目	内容
(1) 有効性	浪岡地域の課題解決や活性化につながるものであるか。
(2) 自発性	地域の方々の熱意と主体性のもとに行われているか。
(3) 公益性	地域住民の誰もが自由に関与・参加でき、事業の効果が不特定多数の住民の利益につながるものであるか。
(4) 将来性	実践を通して、今後のまちづくりの担い手を育成でき、事業の効果が一過性に終わらないものであるか。
(5) 継続性	参加料や協賛金などの特定財源の確保に努めるなど、事業の自主・自立化に向けた取組により、事業の継続性が期待できるものであるか。

【ビジネスプログラム】

項 目	内 容
(1) 挑戦への熱意	新ビジネスに挑戦しようとする動機や目的が明確かどうか。また、意欲が感じられるかどうか。
(2) 実現性	事業計画が全体として具体性があり、かつ矛盾が無く、実現性の高いものとなっているか。
(3) 事業環境	市場のニーズや規模、将来性など、事業環境が示されており、実態と照らしてどうか。
(4) 事業実施体制	人材、販路、技術など、事業を実施する体制が構築できているかどうか。また、事業継続の見込みがあるかどうか。
(5) 地域経済への波及効果	雇用の創出や設備投資、地域資源の活用など、地域経済への波及効果が大きいかどうか。

2) 評価方法

プレゼンテーション終了後、委員は、各評価基準に基づき、次のとおり評価を行い、事業評価シートに記入の上、その場で提出していただきます。

評価方法は、評価項目ごとに次の 5 段階の採点を行い、その合計を採点合計点数とし、25 点満点とします。

評価点	評価内容
5 点	優れている
4 点	やや優れている
3 点	ふつう
2 点	やや劣る
1 点	劣る

4 採択事業の決定

市の職員で構成する「青森市中世の里元気チャレンジ活動事業審査会」が、協議会の評価集計結果を参考としながら、審査基準に基づき審査を行い、採択事業を決定します。

5 浪岡自治区地域協議会委員の評価集計結果・採択事業の報告

各委員から提出された事業評価シートの評価集計結果及び採択事業は、6 月下旬開催予定の協議会で委員に報告します。

協議会による評価集計結果と市の審査結果が一致しない場合には、採択事業を決定する前に、協議会にその旨を報告し、御意見を伺います。